

令和元年度 第2回郡上市地域公共交通会議(会議要録)

○会議名称 令和元年度第2回郡上市地域公共交通会議

○開催日時 令和元年9月5日(木) 午前10時00分～午前11時30分

○開催場所 郡上市役所 4階 大会議室

○報告事項

報告第1号 岐阜バス「高速岐阜八幡線」の乗り継ぎについて

報告第2号 地域イベントでの公共交通の周知活動について

○出席委員 日置市長、尾藤安正、平岩憲政、林 直樹、田中秀昭、大西春子、畑中知昭、出井建雄、
林 克憲、古川浩二、佐野みゆき、渡邊 晋、廣中健太、鈴木隆史、石田 裕、伊豆原浩二
佐々木綱行、池田喜八郎、古川昭文、田原達也(代理)
計20名

○欠席委員 西脇洋恵、野崎貴規、幸畑哲也、林 真弘、中村賢二 5名

○出席者 (事務局：市長公室企画課)
室長 日置美晴、企画課長 河合保隆、交通対策担当係長 井上裕章、主任主査 酒井義文

1. 開 会 (司会進行：企画課長)

2. あいさつ

・会長 日置市長

*議長(会長：市長) 議事進行

3. 報告事項

報告第1号 岐阜バス「高速岐阜八幡線」の乗り継ぎについて

事務局より説明…資料1

*質疑応答

委員 高速自動車道と長良川鉄道を使った幹線交通網について、郡上八幡駅を拠点とした場合、八幡以北の人は30分待ち時間があれば、家族に迎えに来てもらう形をとっており、今までと使い方が変わらない状態である。高速八幡線の白鳥方面でのバス利用者が少なかったため、営利を求める企業として廃止は仕方なく、増便などは出来ないと思う。今後、幹線の

高速バスをいかに活かすか、南部と、北部でバス停留所を作ってもらふことが必要。北部として拠点を整備する場合、各バス事業者に対して要望しているが、何が課題なのかを知りたい。

今回廃線になる便の乗り継ぎ協議については、良く協議していただいたと思っており、結論については自治会へ報告する。

事務局 前回も、幹線としての高速バスを白鳥で停められるよう要望いただいている。北陸から中部縦貫道の整備が進んでおり、交通の結節点としての在り方、交通の拠点としてどのような動きがあるのか注視していく。これからの動きについて観光部局とも話をしており、交通担当だけ単独で働きかけをしても難しいため、色々な団体を交えながら要望の活動等を進めたい。これまでも交通事業者への働きかけを行ったが、課題としてはバス停用地が高速道路上で確保出来ない場合、一度インターを出てバス停を経由する時間がロスとなることと、利用者数が挙げられる。

委員 白鳥方面へは高速バスが行かないという後ろ向きな雰囲気となっているので、ぜひ行政に協力をお願いしたい。

会長 東海北陸自動車道の180kmの全長に対し、50kmほどを郡上市が占めているが、郡上市を通過しているだけの高速バスがある。ひるがのSAについては上下線ともバス停があるが、トイレ休憩だけで交通事業者に頼んでも乗降してもらえない。ひるがのSAは人気が高くて入るために本線上で待機しなければならない問題と、富山県から名古屋市の間を早く行きたいというお客のニーズに応えるためには、極力余分なところに停まらないという会社の方針であり、なかなか要望しても停まってもらえない。白鳥ICのチェーンベースに待避所を設けた場合、下り線は良いが、上り線は高い位置にあり、そこまで行くことが難しい状況である。せっかく幹線道路が通っているのに、なんとかしたい思いもあり検討していきたい。

委員 資料の乗り継ぎ表にある岐阜バスの日当たり利用人数の取り方を教えていただきたい。

事務局 日当たり利用人数については、4月から6月の直近3ヶ月間での郡上市内バス停での利用者の平均値になっている。

委員 利用人数が少ないので、その方にしっかり説明をお願いしていただきたい。今後の検討、利用促進についても情報を把握していただきたい。

会長 利用者への周知についてはどういう対応をとるのか。

事務局 周知についてはホームページ、バス停への表示などで行なっていただくようお願いしている。

報告第2号 地域イベントでの公共交通の周知活動について

事務局より報告…資料2

＊質疑応答

委員 地域イベントについては網形成計画の中にある事業なので評価できるよう実施していただきたい。ただ利用促進だけでなく、意見を集約し路線の見直しに繋げられるようなことをやっていかないといけない。意見をもらえるような仕組みを作っていただきたい。

事務局 意見の集約については、各地域で開催する懇談会にて行う。

委員 明宝の乗り方の具体例は良いと思う。このような「おでかけプラン」の周知は大事なことでなので色々な場面で行ってほしい。

事務局 美並夏祭りイベント時に、関市板取地区の方から郡上高校への通学についてのお問合せがあり、タラガトンネルをとおり相生線宇留良バス停まで送っていただければ、郡上市役所バス停までバス利用が可能である案内を行った。

委員 関市方面へ買い物に出かけるより郡上市の方が近いため、板取地区から大和町まで買い物に来られる方も多い。

委員 郡上八幡スポーツセンターまで板取地区から通っている方もみえる。

会長 シルバー会員の現状はどうか。

委員 現在の会員数は114名で1人当り年間7から8回ほど利用いただいている。

会長 会員の内、郡上市内の会員の割合はどうか。

委員 8割程度が郡上市の方になっている。残りの方は美濃市と関市になる。

委員 以前、美濃加茂市のシティーホテルと長良川鉄道が提携したプランがあり、ランチに出かけたが現在もあるのか。

委員 現在は夏季のビアガーデンのクーポンは行っているが、ランチクーポンはない。

委員 美濃太田駅はエレベーターがあり、駅から道路を横断すればシティーホテルへ行けるため、高齢者には大変利用しやすい施設である。現在は皆さんにシルバー会員を勧めている。

- 会長 要望があるため、美濃加茂シティーホテルとの企画を相談いただきたい。
- 委員 郡上市は観光立市を進めており観光客をどう取り込むか、そちらの需要を集めるプランを立てて欲しい。公共交通を利用した郡上満喫プランなど。
- 事務局 現在は観光連盟や観光部局と連携し、観光列車ながらを利用したツアー造成、連絡バスを運行し下呂市からの観光客を郡上市へ誘客している。今後も観光部局と協議し、観光需要に対応していきたい。
- 委員 大和道の駅に170名程泊まれるホテルが建設中であり、来年の秋に開業される。現在、定例の会議が行われており、地域を周遊する際、公共交通をどうするかを検討している。公共交通会議とも連携をとって進めていきたい。

4. その他

- 事務局 郡上市都市計画マスタープランに基づき、建設部の方で11月1日から11月10日の間、交通社会実験を進めていく。八幡市街地は行楽シーズンになると、郡上八幡IC出口を起点とする交通渋滞が発生し、中心市街地部では車両と歩行者が錯綜する危険な状態になる。そのため社会実験では八幡市街地への交通流入を抑制するため、外周部駐車場への適正な誘導、中心市街地での一方通行規制等を導入し、交通環境の改善を行う。
- 委員 交通社会実験について、現在地元と協議を行なっている最中で、詳細についてはまだ決まっていない。今月中旬には決まる見通しとなっている。一方通行化により、車速が早くなるという危険性もあるため、十分安全性を検討して進めていきたい。
- イベントでのPRについて、具体例を挙げていたが、これをやると何か面白いことができる、これをやると時間をこういうことに使えるなどの案を作ってもらうことが大事である。免許証を返納して、どこかへ行ってみよう、動いてみようと思わせるアイデアを提案できると良い。自分たちで作ってもらうとか、考えてもらうことも大事なのではないかな。ぜひ地域の皆さんと協力して、公共交通を知らない人たちに楽しく使える公共交通を検討していただきたい。

5. 情報交換

- 委員 岐阜シティタワー43で郡上本染の展示会 1 週間行う予定があり、シティタワーに住んでみえる方から、郡上にどうやっていけば良いのかという声があるため、提供できる資料があればいただきたい。
- 委員 外国人の主流はGoogleで検索して訪れる。外国人はアンドロイドスマホの方が多く、基本はGoogleに載っていないと公共交通がないと同じことになる。岐阜県内で対応している

のは、名阪近鉄、中津川市が行なっている。濃飛バス（高山）はまだやっていない。郡上や下呂は整備されていないので、なんとか利用していただきたい。

事務局 昨年度から県主催の研修会などに参加しており、利用する方向で進めている。まず、観光客の多い路線バスや八幡町市街地のまめバスを進めたい。

委員 全路線情報を出すのではなく、乗って欲しい路線情報のみ公開すれば良い。

6. 閉 会

- ・ 副会長